

うちの青年主婦・シニア自慢④



昨年の秋には、深大寺の境内を散策して楽しんだ

三鷹武蔵野支部 けやきグリーンクラブ

【三鷹武蔵野・書記・渡邊亜樹記】三鷹武蔵野支部

シニア友の会「けやきグリーンクラブ」は、6月現勢

で204人の会員がいま

す。コロナ前には日帰り旅行を行なうな

ドシニア同士の交流を深めてきました。この2年は思ったような活動ができませんでした。そのような中で「近くで

6月に散策交流会で再開

次は遠出もしたい

もの園」で散策交流会を行いました。ここは、江戸時代から昭和にかけての名家や商店などの復元された建物が軒を

つなげてお蕎麦屋さんでたくさん歩いた身体を労り、美味しい食事をいただきながら交流を深めることができました。「今後の企画」にもぜひ参加してくださいね

との声かけで無事交流会を終りました。

今後は「もう少し遠出もしたいね」といった会員の声をうけ、秋に日帰り旅行など計画。その際には、役員と連絡員を中心に横のつながりで参加をすすめて多くの仲間を楽しめる企画にしたいと思っています。



「江戸東京たてももの園」で昭和を思い出す

また、生活や組合の共済制度などのミニ学習会を行なっていく、ますます魅力のある「けやきグリーンクラブ」にしていきます。

家族旅行で味わえぬ醍醐味 ニジマス捕まえ「やった」

渋谷



捕まえた魚を自分でさばくのもキャンプの楽しさ

【渋谷・設計・横山容子通信員】7月31日～8月1日、河口湖「森と湖の楽園」で行なわれた渋谷支部キャンプ実行委員会・組織後継者対策部主催のキャンプ交流会に、家族と一緒に日帰りで参加しました。

ほとんどのいけすに放流されたニジマス、子どもたちが一生懸命追いかけて、やっとのことで捕まえた子は「やったー！」と歓声を上げていました。捕まえた魚は自分たちでさばきます。炭火で焼いたニジマスは身も柔らかくてとても美味しかったです。

その後、家族ごとのテーブルでBBQを楽しみました。

【杉並・書記・藤澤拓海記】7月23～24日、山梨県笛吹市の芦川グリーンロッジに泊まり、後継者対策部・主婦の会共催の大キャンプ交流会・ネイチャー体験を39人の参加で開催しました。

待ちに待った夏休み企画

杉並「カレー。おかわり」 虫、魚、大自然を満喫

【杉並・書記・藤澤拓海記】7月23～24日、山梨県笛吹市の芦川グリーンロッジに泊まり、後継者対策部・主婦の会共催の大キャンプ交流会・ネイチャー体験を39人の参加で開催しました。

の流しそうめん。流れる麺をお箸で器用に取ったり、取れずに悔やんだり、子どもたちは大興奮。食後は川遊びを楽しんでから、みんなで夕食の準備。自然のなかでいっぱい遊んでみんなでつくったカレーは本当においしく、お

かわりの声が響きました。夜8時からキャンプファイヤーと花火、カブトムシ取りも。白いシートに集まった虫たちに子どもたちは興味津々。花火も打ち上げ、手持ち、さまざま種類を満喫しました。

翌日は朝10時からニジマス釣りのつかみどり。ずぶぬれになりながら捕まえた魚は、一尾ずつ串を刺して、昼のBBQでおいしくいただきました。

3年ぶり工作教室 貴重な思い出作りできた

新宿



完全予約の入替制で実施

【新宿・子どもたちに向けて子ども工作教室を開催しました。コロナ禍でどう行なうかを考えた結果、受け入れ側スタッフは全員当日朝に抗原検査を行なふりに組合員と支部近隣の子

【中野・書記・上山将之通信員】7月29日、防災対策委員会が研修会を実施し、12人が参加。会場は池袋防災館、毎週金曜日の夜「もしも夜間に発災したら、どのように対応すべきか」というテーマで実施しているものです。

中野 暗闇が恐怖を増幅 備えの重要さを再認識



消火訓練のようす

まずは動画の視聴。東日本大震災の発生時、復旧と復興の経過を思い返し、故郷に戻れない方々の苦しみに心が痛みました。真つ暗な館内を移動し、東日本大震災の揺れを再現できる起震装置に横たわり、いざ体験すると、暗闇が揺れの恐怖を増幅させます。発災時は「カメのポーズ」が正解ですが、身体が跳ね上がって頭を打ち付けるほど。子どもたちにも体験させたいと思いました。

消火訓練、煙体験なども、視界が不十分なか中ではいつもと勝手が違うもの。いつ起こるかわからない災害に備えが重要なことを、あらためて強く思いました。